

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成27年2月26日 (2015.2.26)

【公開番号】特開2013-142607(P2013-142607A)

【公開日】平成25年7月22日 (2013.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-039

【出願番号】特願2012-2804(P2012-2804)

【国際特許分類】

G 0 1 S 19/24 (2010.01)

G 0 1 S 19/30 (2010.01)

G 0 1 S 19/34 (2010.01)

H 0 4 J 13/00 (2011.01)

【 F I 】

G 0 1 S 19/24

G 0 1 S 19/30

G 0 1 S 19/34

H 0 4 J 13/00 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月8日 (2015.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、第 4 の形態として、第 3 の形態の衛星信号捕捉装置において、前記複数の加減算器は、 $k$  個 ( $k \geq 2$ ) のサンプリング値のうちの一のサンプリング値の加減算符号が所定符号と仮定した場合における、異なる加減算の組み合わせで加減算する回路で構成され、前記相関値算出部は、 $k$  個のコード値のうち、前記一のサンプリング値に対応する一のコード値以外のコード値の組み合わせに基づいて、前記一の加減算器を選択し、前記一の加減算器の出力値の符号を前記一のコード値に基づき変更した値を用いて、前記相関値を算出する、衛星信号捕捉装置を構成することとしてもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

また、第 5 の形態として、第 4 の形態の衛星信号捕捉装置において、 $k$  は 4 以上であり、 $k$  個のサンプリング値を 2 つのグループに分けた各グループ内で、サンプリング値の加減算の組み合わせを変えて加減算を行う加減算部と、前記加減算部の加減算結果を記憶する記憶部と、を更に備え、前記複数の加減算器は、前記記憶部に記憶されたグループ内の加減算結果を、グループ間での加減算の組み合わせを変えて演算する、衛星信号捕捉装置を構成することとしてもよい。